

社会倫理研究所2017年度第1回懇話会
『「いのちの支援」研究プロジェクト』

共依存者は不幸なのか

日時：2017年4月22日（土）14:00～17:30

場所：南山大学 R棟 R52教室 （13:30開場）

講師：小西 真理子氏

（日本学術振興会・国際基督教大学 特別研究員PD）

コメンテータ：稲村 厚氏

（認定NPO法人ワンダーポート理事長・司法書士）

司会・コーディネータ：森山花鈴氏

（南山大学社会倫理研究所第一種研究所員/法学部講師）

「共依存」とは、人間関係に対する嗜癖／嗜癖的な関係性である。これまで、共依存者をその苦しみから解放するために、さまざまな回復理論と実践が構築されてきた。しかし、その概念・理論史を検証すれば、それらの回復理論が次第に、現代的な規範にそった人間としての回復を目的とするようになり、その倫理観にそぐわない者を否定する側面を持つようになったことが分かる。本報告では、共依存の肯定的側面にも光を当てたうえで、共依存のさまざまな両義性を指摘し、共依存者の生き方や幸福値の評価し難さについて論じる。そのうえで現代の共依存者が今より少し楽になるための方法について考察する。

【お問合せ】南山大学社会倫理研究所

Phone: (052)832-3111(内線3413・3414) Fax: (052)832-3703

E-mail: ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp HP: <http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/>